

かっぱ通信

2013年11月2日

vol. 100

発行 北川かっぱの会
<http://homepage3.nifty.com/kitagawakappanokai/>
<http://kitagawakappanokai.cocolog-nifty.com/blog/>

続きました
百号!記念号

かっぱ通信は100号を迎えました



(イラスト:「かっぱと東村山」三島知美)

「かっぱ通信100号 記念祝賀会」 来年1/25日(土)開催します

1995年5月に創設以来、18年以上にわたり発行を続けてきた「かっぱ通信」が、とうとう100号の発行に到りました。これまでの18年間の活動を振り返り、今後の活動について考えるきっかけとなれば幸いです。北川かっぱの会では100号の発行を記念し、下記のとおり祝賀会を開催することにしましたので、皆様方の参加をお待ちしております。北川かっぱの会の会員以外の方の参加も大歓迎です。

日時: 2014年1月25日(土) 19時~22時

場所: 東村山駅西口サンパルネ2階「コンベンションホール」

詳細は次頁に



「北川かっぱの会」発足の頃から現在

北川かっぱの会 初代代表 三島 悟

「かっぱ通信」100号発刊、まずはおめでとうございます。そしてかっぱの会発足から18年。驚くばかりで、“思えば遠くへ来たもんだ。”という感でいっぱいです。

1995年5月に約10名のメンバーで北川かっぱの会を立ち上げましたが、その前史として北山公園の都市型公園化をめぐる、4、5年にわたる東村山市行政との激しい対立がありました。しかし、針の穴程度しかなかった話し合いのパイプを広げ、お互い知恵を出し合い、なんとか解決に向かうことができました。

その後、私たちは北山公園の緑の保全に限定することなく、八国山、北川の清流復元も射程に入れた新しい環境保全活動を推進するために、かっぱの会を立ち上げたのです。

会のモットーとしたのは、市と市民の不毛な対立を超えて、楽しく、のんびりと、そして市とのパートナーシップで、地域の緑の保全、再生と、清流の復活を実現していこうというものでした。

当時の北川はドブ臭く、ゴミは多く、透明度はゼロ、川とは名ばかりでした。最初に手がけたのは市



1/25(土)「かっぱ通信100号 記念祝賀会」内容

第一部 (19:00～) ご挨拶、プレゼンテーション(北川かっぱの会のこれまでの歩みとこれから)。乾杯後歓談

第二部 (20:00～21:45) ライブと歓談(ライブ;梅田・河野バンド、岩崎・中谷バンド、エイトポールズ(交渉中))

展示;これまでの「かっぱ通信」、これまでの活動状況(写真)など
料理;メキシコ料理、その他。

参加費;1500円(ワンドリンク付き)。2杯目以降は別料金。

お酒等持ち込み大歓迎です。

返信用はがきを送付した方は**1月10日まで**に出欠を連絡下さい。それ以外の方で出席を希望される方はメール(CZT12221@nifty.ne.jp)または直接北川かっぱの会の会員に、できるだけ事前にお知らせください。

と協働でクリーンアップをすることでした。初めての試みでしたが、ご承知のように18年たった今も、その関係は切れることなく継続しています。数年前に代表を降りて一會員の立場から見ていると、市と市民の協働体制は川端会議だけではなく、わんぱく夏まつりを含めてゆるぎないものになっていることを強く実感いたします。本当にの隔世の感があります。

この間、会として提言した「北川復元プラン」に市の予算がつき、公園の自然護岸化、魚道の設置などめざましい成果を上げてきました。この東

村山・北川方式は市内外にも誇れる質の高いすばらしい内容になっていると思います。

北川の清流でかっぱの子供たちが楽しく泳げる日が夢ではなく、必ずや来ることを改めて期待したいものです。



(100号特集 寄稿) まさか、かっぱ通信が100号なんて!

かっぱの会 魚の応援団 君塚芳輝

東村山市の北川や北山公園を中心に活動する北川かっぱの会が創設から18年、会報『かっぱ通信』も100号を迎えると聞いて驚きました。

会が設立された頃は北山公園の改築問題でかっぱの会と市役所が厳しく対立しており、反対運動の集會に椎名 誠さんを招いて公民館ホールを満席にするような団体の活動が長続きするとは思えませんでした。公園の自然を考える勉強会を企画したら「市民団体との同席は無理」と言われ、午前と午後の2回、同じ会場で双方に話題提供したのを覚えています。

でも勉強会に出席した積極的な市職員の方々と話してみると、きっといつかは協調できると感じました。そして現在、市と市民が共催する『北山わんぱく夏まつり』には毎年2000人以上(推定)が集まり、外来の水草やカメの駆除も市と市民が連携して行う協働の仕組みが成熟してきました。

しかし、成熟は進化を弱める側面があります。これからも引き続いて 外来種駆除の継続、放流コイの除去への合意形成、北川の落差工についての魚道設置や落差撤去、雨水の地下浸透の拡大による河川流量や湧水の復活など、



取り組むべき課題は山積しています。会員の固定化と高齢化を乗り越え、「楽しいことばかり！」と若者を騙して活動に引き入れ、控え目に酒を嗜み（なぜか通信は飲み屋によく置かれている） かつぱの会を継続させることが急務だとにらんでいます。

原稿を依頼された趣旨を忘れてしまいました。少なくとも2年後の20周年までは、何とか倒れずに頑張ってください。引き続き協力致します。

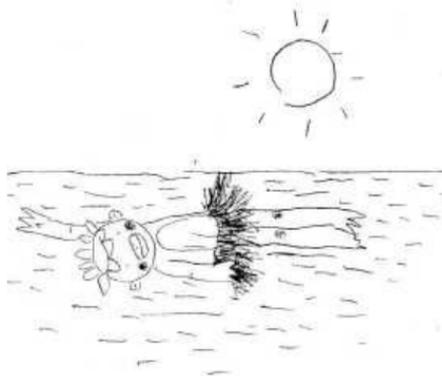
(100号特集 寄稿) 「かつぱ通信」第100号に寄せて

NPO空堀川に清流を取り戻す会 友保邦弘

「かつぱ通信」第100号の記念出版、誠におめでとうございます。一口に100号と言ってもこれは偉大な業績です。かつぱ通信は多岐にわたる内容を簡潔に記述されているので思わず一気に読んでしまいます。その上内容が的確で新鮮なためしっかりと心に残ります。硬いテーマであっても表現が簡潔・平易なのですんなり読めるのです。限られた紙面にあれだけ豊富で充実した内容が盛り込めるのは、多方面にわたる専門家が大勢おられるからだろうと思います。また発行頻度が多く経過報告や活動予定がタイムリーに載せられているので多くの読者を得ており、配布先の在庫がすぐに無くなるのでしょうか。これからも益々有益な情報の発信を期待しています。

さて、環境保全に取り組む活動には日に日に厳しい課題が山積しております。社会情勢や自然環境がこれまで経験したことのない状況におかれています。活動団体構成員の高齢化、若者の無関心、行政や企業のバックアップ体制の緩み、さらには猛暑、ゲリラ豪雨、干ばつ、放射能、廃棄物、外来種の脅威・・・などなど。いずれも環境保全活動にとっては大きな障壁です。このような厳しい状況の中にあっても、貴会の活動は目覚ましい

ものがあります。川のクリーンアップなど足元の課題から水循環など地球規模の問題にまで果敢に取り組まれている貴会の活動に大きな期待がよせられています。充実したメンバーの皆様の活力、行動力、英知を結集し、環境保全団体のリーダーとして走り続けて頂けるものと確信しています。



気楽な気持ちで引き受けてしまったものの.....

かっぱ通信 元編集長 渡辺 美枝子

2003年から2009年までのかっぱ通信を担当しました。

前任から気楽に引き継いだものの思いのほか苦労しました。当時はまだ紙原稿のものもあってパソコン入力の手間がかかったものです。また、WORDの習得が未熟なため罫線枠の中に原稿を入れ込むと枠が崩れて何度もやり直したこともありました。

会の会計等の事務局を担っていたこともあり、かっぱ通信発行の時期になると、頭の中はかっぱ、かっぱ・・・でした。よく乗りきったものだと思っています。

それでも慣れてくると沢山の楽しみもできました。

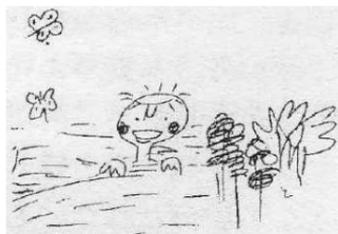
いろいろな方をお願いした原稿を一番最初に読めること。連載の「水辺だより」「かっぱの楽校・生物学講座」、そして三島知美さんの可愛いかっぱの表紙イラストなど、手に届くのが楽しみでした。

特に、松村一博さんの「水辺だより」はかっぱの会の原点ともいえるべき北川の清流復活の活動（月一回の川掃除）報告でした。掃除中に青大将を出会ったこと、川に降りた時の気持ちの良さ、小魚たちの群れ、川から見上げた橋と青い空、水の冷たさ温かさ、季節ごとの北川の姿を教えてくださいました。

かっぱ通信は第一号から表紙イラストの下半分は編集者の巻頭言というスタイルをとっていたので私もできるだけそれを継承しました。巻頭言を書くため新聞雑誌などから情報収集したり、季節の風を感じたいと北山公園一帯を歩き回ったこともありました。

号タイトルを考えるのも面白かった。ちなみに私の最後の号は「梅雨の晴れ間は急いで洗濯」号。生活感そのもの。お恥ずかしい限りです。

編集から離れて4年ですが、もう100号なんだと時のたつ速さに驚いています。



北山公園沿いの北川のコンクリート護岸が撤去されてから約10年。下水道の普及もあって北川に清流が復活しつつあります。子どもたちの川で遊ぶ姿もよく見かけます。かっぱ通信がいつまで続くかわかりませんが、北山公園と北川一帯の水と緑の風景がいつまでも続くことを願ってやみません。

かっぱ通信 100号までの歩み

北川かっぱの会が創設されて18年。

この間の大きなイベントを拾ってみました

1号 (95.6.24) 創刊号だよ

あじさい湖開号 1995年6月24日 Vo.L. 1		編集・発行 北川かっぱの会 東村山市野口町 3-11-8 三島方 TEL. FAX 0423-91-2305
----------------------------------	--	--



4号 (95.12.1) 北川クリーンアップ作戦開始

北川クリーンアップ 作戦に市民 150名が参加!



「おっ、ここにもゴミが!」

去る一〇月二九(日)、行政と市民の初ジョイントで、第一回北川クリーンアップ作戦が展開されました。当日は予想を超える約一五〇名もの人が参加し、川掃除は大成功でした。

8号(96.8.1)わんぱく夏祭りスタート

主催：北山わんぱく夏まつり実行委員会
後援：東村山市、東村山市教育委員会、東村山市商工会

連絡先：東村山市緑政課(担当：櫻井) ☎0423-93-511
もしくは 事務局 三島 ☎0423-91-2305



23号 (99.2.1) マスコミも注目！動き出した「北川復元プラン」

29号 (00.2.1) 北川源流から海に向かって歩き出した「かつば団」



31号 (00.6.1) 東京都環境賞受賞

32号 (00.8.1) 北山公園の川づくり検討会(川端会議)はじまる



53号 (04.4.18) 北山公園親水広場 5.16オープン、2期工事予算確定、市民功労賞受賞



56号(04.12.4)北川親水化工事第2期目がはじまる(魚道が設置される)



83号(10.4.25)北山公園しょうちゃん池のかいぼりを実施



87号(11.2.12)「水と緑の掲示板」の掲示をスタート



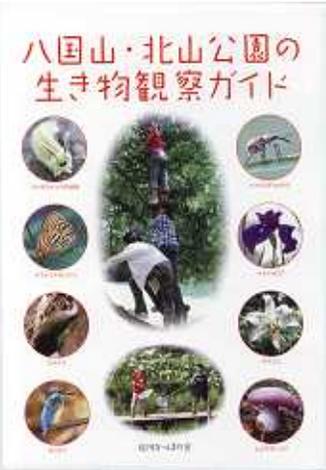
64号(06.7.2)ヤゴ救出作戦始まる - 小学校の土曜講座支援が定期化



86号(10.12.12)たっちゃん池の魚類等調査と清掃を実施



98号(13.4.28)アカミミガメの駆除作戦がはじまる



93号(12.4.22)観察ガイド完成

100号発行記念アンケートから

問1 北川かっぱの会の活動での思い出、印象に残っていること。 なかなか日頃は参加できないのですが、「わんぱく夏まつり」では、会の活動が多くの子ども、大人に喜ばれる様子を実感。土曜講座やヤゴ捕りなど、折々の動きにすごいな、ウレシイなと感じています(ぱば) 夏まつり前夜の北山小校庭の映画会、雨で途中でとりやめになった。あの状況と映像が今も残っています(さくらいひさえ) (かっぱの川下り)長期に渡って東京湾まで行脚したのが印象に残りました(パッカ) たっちゃん池のかいぼり(中谷浩之) オオフサモ退治...雨の中、市役所の人や業者さんたちと一緒に土木作業。みんな手弁当。しんどかったけれど最高でした。北川水辺倶楽部...私は時々しか参加できませんが、ずっとずっと続けてこられていることの重み、大切さをいつも感じます。(さとうまさたか) 手前味噌ですが、ヤゴ救出作戦(岡田) カヌーの時の子どもたちの笑顔がすばらしい(匿名) 飲会が楽しかった(匿名) 三島さんの顔がいい(沢野ひとし) 問2 これからの活動に対する期待 子かっぱがふえるような楽しい活動。夏まつりカヌー、土曜講座、etc(さくらいひさえ) 継続は力です。小さな子供がたくさん集まる会は素晴らしいです。夏まつりに来ていた子供が親になって、子供を連れてくるような会になると素晴らしいです(大野豊彦) 生態系のこと、身近な小さな自然のこと、真面目に考えて目いっぱい楽しんじゃう「かっぱの会」。派手じゃないけど、そう地味でもなく、協働なんて言葉が使われない頃からとくに地で行っている「かっぱの会」。東村山に残る里山の自然を子どもたちに残し、伝えていくために、これからもいるんな人たちとつながって、笑顔の輪が広がりますように!(さとうまさたか) Birth との更なる連携(岩崎飛昇) 親子を対象とした後継者づくり。各地の川など、遊びを交えた見学など(パッカ) 新しい活動を担う会員層の拡大(岡田)

報告 北山わんぱく夏まつり

8月4日(日)、「第18回北山わんぱく夏まつり」が開催となりました。今年も多くの市民ボランティア、市役所の方々などの方々に支えられ、多数の参加者(約1200人)とともに夏の一日を楽しみました。

北山公園を主会場に、北川コーナー、北川ウォーク(魚とり)、北川水族館、ザリガニ釣り、八国山虫とりハイク、外来生物の解説(認定NPO法人生態工房の皆様からの全面的な支援をいただきました)、木工、草笛、紙芝居など様々なイベントが開催となり、親子で楽しむ微笑ましい姿があちらこちらで見られました。

またお昼頃には渡部尚市長も来場され、ご挨拶をいただきました。ありがとうございました。今回、あらためて多くの市民ボランティア、市役所の担当の方々の支援があってこの夏まつり成り立っていることを痛感しました。ご支援いただきました皆様方、本当にありがとうございました。また、来年も北山公園でお会いしましょう!



人気のコーナー体験、長蛇の列でした



鮎をほおぼり紙芝居



公園内の水路、捕まったかな?



生態工房メンバーによるブラックバス問題のパフォーマンス

報告 アカミミガメとオオフサモの駆除

北川かっぱの会では、今年の春より、北山公園「しょうちゃん池」に繁殖しているミシシippアカミミガメ等の駆除活動を始めました。月1回、駆除活動を行い、この10月20日で今年の駆除活動を終了しました。

計7回の駆除により、アカミミガメ9個体を捕獲することができました。「最近、池でアカミミガメを目にすることが減った」などの意見も寄せられていますが、北川かっぱの会としては来年以降も地道な駆除活動を継続していきたいと考えています。なお、北山公園でのアカミミガメ捕獲への道のり、捕獲状況などについては、10月5日開催の「アカミミガメ防除講習会(主催;認定NPO法人生態工房)」の場でも話をする機会を得ることができました(当日の配布資料は10月6日付けの「かっぱブログ」をご覧ください)。



アカミミガメの捕獲活動については、アミを仕掛ける最適場所やエサの種類、また捕獲の意義についての地域住民への効果的な周知方法など、検討すべきテーマが多々ありますが、来年以降もデータを積み重ねながら取り組んでいきたいと考えています。

また、10月19日(土)、北川で繁殖するオオフサモの駆除活動を行いました。今回は少人数で、宅部遺跡橋の上流で延長3mほどの区間について実施しました。わずかの時

捕獲したアカミミガメ、クサガメ、アメリカザリガニ。クサガメが意外に多く生息

間でしたが、オオフサモ約200リットルを回収しました(70リットルのゴミ袋3つ分程度)。今後、オオフサモの駆除活動についても、地道に行っていきたいと考えています。



駆除後の川の様子

北川・・・どうなる？ どうする？

北川から菖蒲田への水のポンプアップが終わり、北山公園の水路やハス池などは干上がりました。今年多かったトウキョウダルマガエルも水辺を求めて大わらわでしょう。子供達の相手も、魚やカエルからバツヤやトンボに代わって行くのでしょうか。



日本の高度成長期、多摩湖からの放流水が無くなったことも重なって、ご多分にもれずひどく汚濁してしまった北川の水質は、近隣の人々の美化活動や、下水道整備によって改善しました。私見ですが、今以上に安定して水質を良くするには生活廃水以外で流量を増やす

報告 川端会議

9月7日(土)東村山市主催の北山公園整備計画意見交換会(いわゆる「川端会議」、市と市民、市民団体との意見交換会)の場で、市より、北山公園内に設置が予定されていた深井戸設置工事を中止せざるを得なくなったとの説明がありました。

深井戸の設置を行うことにより、北山公園内に通年で流水を確保することができ、生き物の生息環境が大幅に改善されることが期待されただけに、とても残念な結果です。

設置工事を中止せざるを得なくなった理由は、北山公園周辺では地表面

しかない・・・何ができますか？

さて、生き物は、一旦その場がダメになっても、周辺に生息できる場が残っている限り、再び環境が整えば勝手に戻ってきます。水質改善に伴って、北川水域にも、昔の武蔵野・狭山の里川に棲んでいたであろう生き物がかなり復活しています。この先、少しずつでも川の上下、横断方向の連続性を確保し、魚では、他水系からの移植なしで、在来タナゴが増え、ホトケドジョウが戻るといいなと思っています。〔康〕

【クイズ】北川に多いドジョウのひげの数は？

6本？ 8本？ 10本？ (答えは14頁)



下約 380m より深いところには帯水層(水を含む層)が存在しない可能性が極めて高く、仮に取水することができたとしても取水可能量は微量であると推定される、との論文が見つかったためです。

今後は、25～27年度にかけて行われる予定の「北山公園整備計画」の見直しの中で代替案について検討していくことになると思われます。

トウキョウダルマガエルなどの希少種をはじめ、在来生物の生育環境を守っていくためにも、北川かっぱの会としてより望ましい代替案について検討していきたいと思います。



2013年11月～14年2月 活動スケジュール

ホ は **ホ**ランティア募集 の略

性別、年齢、経験不問、HP、ブログ(検索:北川かっぱの会)
または直接会員にお知らせください

定例川そうじ 毎月第2土曜 9-11時

11/9、12/14、1/11、2/8

集合:北山小正門前

ホ

かっぱウォーク

11/30(土)13:00東村山駅改札口集合
「狭山丘陵フェア」の最終日、
「SATOYAMA HILLS」で紹介され
ている多摩湖の北側の丘陵を歩きます
(下山口駅 中氷川神社 菩提樹
田んぼ 菩提樹池 トロクの森 19号
地 西部球場前駅(所要2時間程
度))。雨天中止。

かっぱ定例会 集合: 茫々亭

11/30(土)16:30～18:00 3月頃ま
での活動予定、かっぱ通信100号発行
イベント関係などについて検討予定。

1/12(日)16:30～18:00 2014年の
活動方針、かっぱ通信100号発行記念
祝賀会関係などについて検討予定。

多摩湖緑地ワークショップ

12/1(日)10～15時

多摩湖緑地の整備計画や保全計画につ
いてワークショップ形式で検討します。誰
でも参加可能です。市+原風景を守る

会主催。詳細は市報参照。

狭山公園わいわいミーティング

12/7(土)午前中

見学会と青空ワークショップ開催予定。
誰でも参加可能です。西武・狭山丘
陵パートナーズ主催。

井の頭池かいぼり **ホ**

1/25(土)9:30～15:30

1/26(日)9:30～12:00

北川かっぱの会から「支援隊」を出す
予定。詳細は、かっぱブログ掲載。実
行委員会主催:

かっぱ通信100号発行記念祝賀会

1/25(土)19-22時 **ホ** 詳細は
本紙P2参照

川端会議 2/1(土)10-12時

ふるさと歴史館。北山公園周辺の環
境整備について、市、市民、市民団
体の話し合いの場。誰でも参加可
能です。

**多摩湖緑地・原風景を守る会
活動日程**

11/16、12/21(土)13:30～15:30

11/3、12/1(日)9:00～12:00ごろ

作業内容:草取り、落葉集め他

新会員登場 佐藤方博さん(武蔵野市) 初めて北山公園に行ったのは中学生
のときでした。当時(86年頃)は今よりももっと素朴な公園で、ガマの穂が
たくさんあったのを覚えています。夜のアマガエルの合唱は圧巻でした。
若澤英明さん(東久留米市) 初めまして、生態工房の若澤英明です。以前、
夏まつりやカメの防除活動に参加しました。また参加したいと思っています。
今後ともよろしく願います。 宮田文子さん(練馬区) 練馬の
大泉のカップと呼ばれています。水遊び、野遊び、土遊びが大好きです。
カップが生きやすいような自然を残してくれることを期待しています。

北山/富士見・南台小土曜講座

報告 北山小 八国山虫とりハイク

去る7月20日、毎年恒例の北山小学校土曜講座の虫取りハイクが行われました。

早朝5時に北山小学校の正門前に集合した総勢49人(子ども26人、大人23人)は夜が明けたばかりの八国山緑地へと元気に向かいました。我々虫取りハイクの掟(オキテ)では、「カブトやクワガタなどの獲物は第一発見者に権利がある」と決めています。そうしないと、体力のある高学年の子が断然有利になり、低学年の子たちは何もつ捕まえない事になってしまいます。子供たちはきちんとこの「オキテ」を守ってくれるばかりか、不運にも何も見つけられなかった子に沢山捕まえた子がカブトムシを分けてあげていたようです。約2時間程度の昆虫採取ですが、開始の時に比べて森から出てきた時の子供たちは生きいきとしたハンターの瞳の輝きに変わっていました。今年は比較的多くのカブトムシやクワガタに出会えたようです。来年の夏もおにぎり持って虫取りに行こうね! (中谷)



報告 北山小 北川の魚と生き物をのぞいてみよう 南台・富士見小土曜講座 水のふしぎ探検隊

9/7、この日は午前北山小、午後南台・富士見小とダブルヘッダーでの講座となりました。しかも、かっぱ会員の人手不足があり、急遽生態工房のメンバーの応援を得ての開催となりました。

曇りときどき薄日のさす一日で、真夏の暑さのない川に入るにはちょうどよい日和でした。北山小は低学年生を中心に子ども25人、保護者12人の参加で、北山小学校前の北川で魚をとりました。午後の南台小・富士見小では、4~6年生で子ども8人の参加で、北山公園内の北川で魚を捕りました。

捕れた魚などは、トウヨシノボリ、モツゴ、オイカワ、ギンブナ、カマツカ、ドジョウ、メダカ、アメリカザリガニなどで、目立ったのは、ヌマエビなどのエビ類が多いように感じました。大きなオイカワが捕まらないので、子どもたちが投網を円形に広げて持ち、一気に網を落とすやり方で捕まえることができました。その他、北山公園で



お弁当を食べてみんなで記念撮影



外来生物の話に聞き入る子どもたち

もめつたに見られなくなった、準絶滅危惧種指定のトウキョウダルマガエルも捕獲することができました。

生態工房の皆さんには、オオクチバスやミシシッピーアカミミガメなどの外来生物の問題を楽しい寸劇を交えて話してもらいました子どもたちにもわかりやすかったと思います。最後に、この北川での絶滅危惧種は実は「水ガキ」で、子どもたちにもっと川で遊び自然とふれあってもらいたいなあ、と講座を締めくくりました。(遊星歯車)

報告 北山小

トンボ採りとヤゴいかにづくり

9/28、北山小土曜講座のトンボ取りとヤゴ筏の進水式が開催されました。

朝 9 時に北山小学校に集合。前半は北山公園でトンボ採り、後半は学校のプールにトンボの産卵を促すための草の筏を作りプールに浮かべました。

まずは、総勢 22 人の子供たちと、虫取り網を持ってトンボ採りに向かいました。朝の気温が低い時間帯はあまりトンボも飛翔せず、10 時近くなると北山公園は多くのトンボが飛び交うパラダイス



北山公園でのトンボ採り

になります。この時期はアキアカネを代表とするアカトンボの仲間が多く飛び交います。事前に用意をしていたトンボの資料で、子供たちが捕まえたトンボ達の名前の確認を行ったところ、全部で 6 種類のトンボが確認出来ました。その後、学校に戻り竹製の筏を自然な池の浮き島に見えるように枯草取り付け、プールに浮かべました。きっと沢山のヤママ達がこの筏に産卵に来てくれた事でしょう。効果の程は来年のプール開き前の「ヤゴ救出作戦」の時のお楽しみということで！(中谷)



草のせたヤゴいかにだをプールに浮かべる

【クイズの答え】

10本(北川には ドジョウ がいます)
なお、湧水を好むホトケドジョウは 8 本

会費納入のお願い

かっぱ通信の印刷費、郵送費(マスコミや環境関係の識者、他の環境団体への周知経費を含む)や夏まつりの消耗品などの経常的な経費は、皆様方からの会費を基に活動を行なっています(企業等からの助成金は、経常的な経費への支出は認められない)。

今回、振込用紙を同封させていただきましたので、最低限の活動を行なっていくためにも、会費(年間 3000 円)のお振込をお願いいたします(既に振込済の方にも振込用紙を送付している可能性があります。悪しからずご了解ください)。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

寄付金に深謝

認定NPO法人生態工房様 20,000円

訂正 かっぱ通信 Vol.99 P5
(誤)アメリカツノゾウムシ
(正)アメリカツノウズムシ

編集後記

100号記念号ということで、内容盛りだくさんで読んでご舞いでした。ぎゅっしり感はあるというもの、この編集作業もレイアウトの調整のみで、執筆者の皆さんに感謝です。

今回、かっぱ通信の初期の号をながめ、先輩諸氏の清流復活を目指す情熱が誌面いっぱい感じられ、改めて敬服した所存。また、活動内容や様々な企画にアイデア満載で、とてもおもしろく参考になりました。101号から先どこまでこの編集を担えるかはわかりませんが、改めて振り返り、いろいろな着想に生かしたいと思いました。今後のかっぱ通信をよろしくお願いいたします。

(遊星歯車)

かっぱの会会員募集

狭山丘陵の東麓、トトロの故郷北山公園一帯の緑の保全とその前を流れる北川の清流復活という夢をもって作られた会です。自然と野外の遊びが大好きで、趣旨に賛同、活動に参加できる方(参加、入退会自由)を広く募集しております。

会費 年間 3000 円

「かっぱ通信」年 4 回をお送りします。

問い合わせ・申込み先

<http://kitagawakappanokai.cocolog-nifty.com/blog/>

会費振込先

〔郵便振替 00120-6-104476〕

〔りそな銀行東村山支店

(普)3605694〕

加入者名 北川かっぱの会



かっぱ通信は市内の公民館と図書館に置いています。

北川かっぱの会刊行物

『未来の川へ・北川復元プラン』北川復元プランのパイロットケースとして、北山公園周辺の北川が変わりつつあります。21世紀の未来の川の姿を探る一冊。頒価 1000 円 送料 390 円

『北川流域マップ - 未来の川へ - 』北川公園、八国山を歩くための地図。流域の生き物ミニ図鑑付き。A2両面版 頒価 200 円

『八国山・北山公園の

生き物観察ガイド』

A2両面版の生き物ミニ図鑑と解説です。観察会などイベントで無償配布しています。

発行:北川かっぱの会

連絡アドレス CZT12221@nifty.ne.jp